

千葉のものはな同窓会

編集 千葉大学医学部 むのはな同窓会
報 学生編集部
発行者 伊藤 忠雄
千葉市亥鼻町 318番地

新刊 医学書

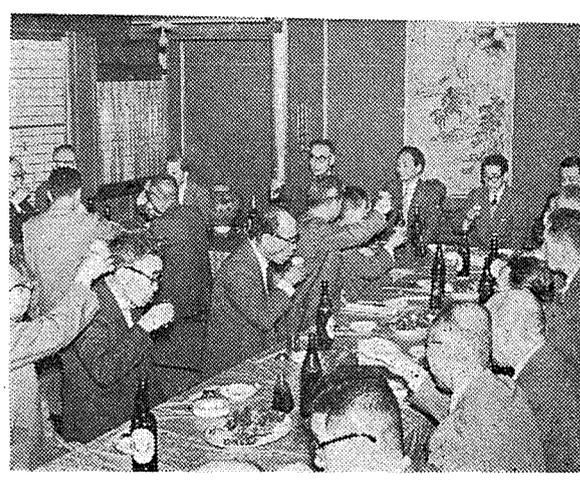
看護学書 専門販売
千葉大学医学部 助産婦学書
千葉市亥鼻町一八(病院敷)
千葉大学医学部 西門前
千葉市亥鼻町 七九四番
電話 千葉 (2) 七九四三番

メジカル書院

千葉市亥鼻町一八(病院敷)
千葉大学医学部 西門前
千葉市亥鼻町 七九四番
電話 千葉 (2) 七九四三番

本年度予算117万にきまる

本年度のものはな同窓会は、荒木教授の学長当選、福山教授就任および田波助教授らの帰国祝賀会を兼ねて、5月26日同窓会館で行なわれ、会員の有機的連絡など懸案の問題が討議された。また、講堂の正式名が決定した。



ものはな同窓会総会—同窓会館で

五月二十六日、本年度のものはな同窓会総会、ならびに同理事会が、同窓会館で開かれた。川崎事務局長補佐の三十五年決算報告に続いて、百十七万七千七百四十九円の本年度予算など(詳細面)が承認された。

講堂着工、今年中に

ものはな同窓会総会

そのために会費の集まりも、昨年にくらべ、良くなったことが報告された。それに関連して、小林教授より、同窓会報が、軌道にのって来たのもあつており、引き続き、同窓諸氏の援助を望むとの発言があつた。

懸案の問題を検討

第五回全国医学部長会議

同窓会館で開かれた。川崎事務局長補佐の三十五年決算報告に続いて、百十七万七千七百四十九円の本年度予算など(詳細面)が承認された。

建設につき質問があり、中山教授を中心に委員会を設け、鋭意検討中である。本年度中に着工の予定であること、また、県当局、文部省との交渉上、講堂を千葉大学記念講堂と命名することなど、小林教授から説明があつた。

史を編んで感あり

鈴木 正 夫

私はいま千葉大学医学部八十五年史のために、千葉医科大学に昇格(大正十二年)からその創業時代たる昭和初年の頃のことを、調べたりしているが、昔を顧みながら思つて深い感慨に打たれるときがある。

例えば昇格直後の頃、当時講師として来学しておられた某大教授(基礎)が学長に対して「本大学の将来を思うに臨床方面においては、地理関係上大都会地の大学に匹敵し得るに至るか否かは疑わしいが、基礎医学方面においては、やはり方によっては天下に雄を争うこともできよう。ついでにはなるべく基礎方面に専攻費を豊富に分配されたい」との意見を述べられた、とある資料に記されてある。

授が最も後に残された方であつた。加賀谷教授も馬場教授も、更に小池教授すら種々の都合で連れて加わられた方々である。しかしこれらの方々を加え、昭和元年前後に設立した教授団こそ、前述の努力と奮闘が、感謝さるべき方々であつた私の如きは、はるかに遅れて、昭和十年に団の末に加わつただけである。

授が最も後に残された方であつた。加賀谷教授も馬場教授も、更に小池教授すら種々の都合で連れて加わられた方々である。しかしこれらの方々を加え、昭和元年前後に設立した教授団こそ、前述の努力と奮闘が、感謝さるべき方々であつた私の如きは、はるかに遅れて、昭和十年に団の末に加わつただけである。

授が最も後に残された方であつた。加賀谷教授も馬場教授も、更に小池教授すら種々の都合で連れて加わられた方々である。しかしこれらの方々を加え、昭和元年前後に設立した教授団こそ、前述の努力と奮闘が、感謝さるべき方々であつた私の如きは、はるかに遅れて、昭和十年に団の末に加わつただけである。

授が最も後に残された方であつた。加賀谷教授も馬場教授も、更に小池教授すら種々の都合で連れて加わられた方々である。しかしこれらの方々を加え、昭和元年前後に設立した教授団こそ、前述の努力と奮闘が、感謝さるべき方々であつた私の如きは、はるかに遅れて、昭和十年に団の末に加わつただけである。

学外対策の組織化へ

本学 病院長会議開かる

五月二十七日、同窓会館で、本学出身関係の病院長会議が開かれた。参加者は、鈴木五郎郎(千葉)、橋本長(千葉)、関東地方の各病院院長二十五名。本学の発展を図るため、第一線で活躍している各病院院長の意見を、交換し、緊密な連絡を、さらに後輩の発展を期するたため開かれたもの。

授が最も後に残された方であつた。加賀谷教授も馬場教授も、更に小池教授すら種々の都合で連れて加わられた方々である。しかしこれらの方々を加え、昭和元年前後に設立した教授団こそ、前述の努力と奮闘が、感謝さるべき方々であつた私の如きは、はるかに遅れて、昭和十年に団の末に加わつただけである。

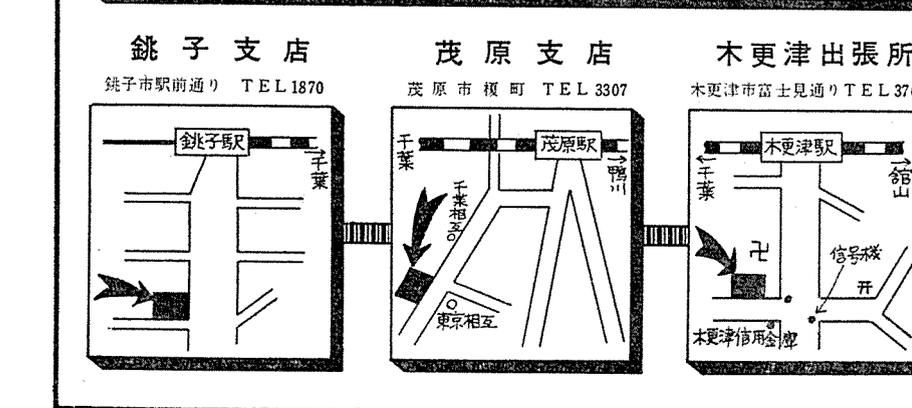
ごぞうろっふ

長いあいだ「東京の台所」などと呼ばれ首都の活気からは、はるかに遠いところにあつた千葉にも、京葉工業地帯の造成にともない、新しい発展の気運がおとすれてきた。京浜工業地帯をしのぐ規模になると言われる新工業地帯の完成は、千葉県の発展に寄与するだけでなく、本学医学部の発展にも少なからぬ関係を持つものと思われ、巨大な工場誘致は、当然人口の増大をもたらすであろうし、人口の増大は、医療施設の充実を要求するであろう。シツクの不足が叫ばれてくる本学にとつても歓迎すべきことである。だが、千葉県下に病院ができたところで、その病院が、本学出身の医師を採用するといふわけではないのが、医学界の現状である。市立病院でありながら、背理な競争の末、結局東京の二大医学部を分けた某市立医大の例の如く、京葉工業地帯の病院内に、本学出身者を容れる余地がまったくない、といった事態も、想像できないことではない。シツク獲得のための専任機構を院内に設けて積極的に活動を行なっている大学もある時勢である。シツクの如き俗事にわずらわされたくないという研究者の気持ちも分らぬではないが、卒業しても就職できないということは本人にとっては重大な問題であり、結局は本学発展の上にも支障になるであろう。後輩のほますます不利な立場に立たされおそれがある。以上のよう状況報告があり、これに対処するため本学でも専任などの専門同窓会の機能ではあるまい。

臨時10ページ

- ▼設立の理想とは違ひ大学院特集 (3面)
- ▼大学院はこれでよいか! 座談会 (4・5面)
- ▼大学院生はかく訴える! 特集 (6面)
- ▼ゼミとフェスティバルの二本立 (7面)
- ▼神経病の婆さんが第一号! 生活記 (8面)
- ▼支部だより (9・10面)

鳥海のサービス網を御利用下さい!



旭出張所 旭市西銀座 TEL 403
本店 千葉市吾妻町1の23 TEL 21141
蘇我出張所 千葉市今井町277 TEL 6425

鳥海証券 山代一証券 代理 投資信託 株式 公社債

目的に大きな混乱 設立の理想とは遠い現状

理念

大学院医学研究科とは、どのような目的を持って生れたものであるか。昭和二十四年の設立趣意書

「その本来の理想は、一専門分野に關しての研究指導する能力を養ふことである。すなわち、将来研究機

大学院医学研究科が本学に設置されて以来、設置当時から、様々な矛盾点をほらみつづ今年で七年を迎える。すでに五十名の卒業生を送り出し、全員新制学位を取得している。しかし今なお、その基本概念が統一されてない。大学院とは一体なかに

大学院医学研究科

特集

その実態はどうかを、ここに特集してみた。なお、これは大学院学生のアンケート(回収率70%)を基にしたものであり、臨床系(グロスファツハ、クライフツハ)基礎系で区分したものである。

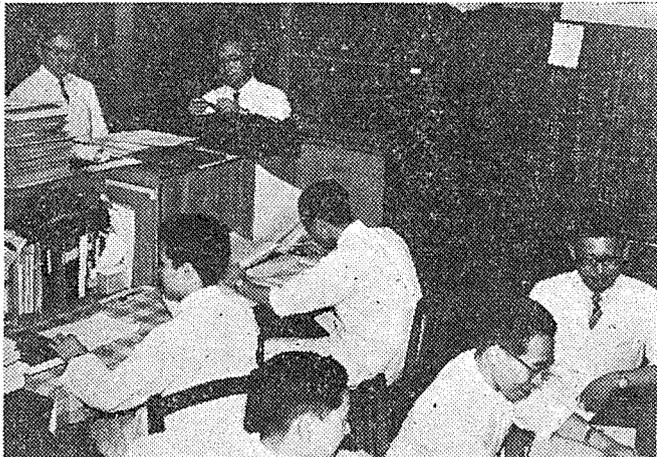
A	14%	(9・3・2)	基礎系
B	19%	(10・8・1)	臨床系(小)
C	37%	(17・12・8)	臨床系(大)
D	27%	(12・8・7)	臨床系(大)

とされている。D項の理由として付記してあったものは、「医局にいるよりも、勉強できる環境だから」というのが多い。

確立していない概念

学課

大学院学生、彼は入学(第三巻)となつて、金千円、授業料年額一三五〇円を納める学生である。これをまず第一に上げなくてはならないのは各講座にある研究科であるが、それは統一されたものでなく、各講座により、著しい差異がある。初めに、はっきりしておかねばならない。大学院の運営組織は次のように定められている。研究科における授業ならびに指導は本学教授助教授および専任講師が担当し、研究科に属する学務管理を行うため、研究科委員会を置く。これはその研究科の主任を担当する教授を以て組織され、研究科長として学部長がこれに當つて(大学院規程第八、九章)。また、学



研究中の学生たち—第二内科大学院学生室で

院の運営組織、教員組織は次のように定められている。研究科における授業ならびに指導は本学教授助教授および専任講師が担当し、研究科に属する学務管理を行うため、研究科委員会を置く。これはその研究科の主任を担当する教授を以て組織され、研究科長として学部長がこれに當つて(大学院規程第八、九章)。また、学

問題点を学部長に聞く

医学部 会議でも検討中

谷川学部長の話

ことし、五十一名も入学させたのだから、理想とは少々異なるが、本学としては、その目的を正確に解釈しては、シツクが少い。なんとな、卒業生の活躍する場を多くしなくてはならない。ただ、いまいえることは、期待通りにはなっていない。将来に期待して、研究指導する場合に非常な有利になることである。いふにせよ、いまの大学院制度は根本的に改革しなければならぬ。これは、これら大学院問題は医学部長会議でも毎年提出される問題で、検討中である。たとえ

学位が大きな魅力 急増している入学者

のではない。事実二十四年以前には基礎入学者は毎年ほとんど基礎で、視野を広げて将来の研究の助となる意味で、明らかにするかも知れない。だが、プロバ

大学院の学生は、増え、また医局の減少を意味している。そこに生ずる人手不足のため、学生として当然の待遇が与えられなくなつて来ているのである。従つて大学院学生と医局研究科との間に

定員

大学院医学研究科は生理系、病理系、社会医学系、外科系、内科系からなり、学生定員は二百八名で、三年生(昭和三十四年)以後、一講座につき一年当り二名(千原)に急増していることである。殊に、数学の上では基礎入学者の増加が顕著である。しかしこれは決して単に基礎志望者の増加を物語るものではない。事実、基礎系で区別した

大学院学生、彼は入学(第三巻)となつて、金千円、授業料年額一三五〇円を納める学生である。これをまず第一に上げなくてはならないのは各講座にある研究科であるが、それは統一されたものでなく、各講座により、著しい差異がある。初めに、はっきりしておかねばならない。大学院の運営組織は次のように定められている。研究科における授業ならびに指導は本学教授助教授および専任講師が担当し、研究科に属する学務管理を行うため、研究科委員会を置く。これはその研究科の主任を担当する教授を以て組織され、研究科長として学部長がこれに當つて(大学院規程第八、九章)。また、学

大学院の学生は、増え、また医局の減少を意味している。そこに生ずる人手不足のため、学生として当然の待遇が与えられなくなつて来ているのである。従つて大学院学生と医局研究科との間に

新発売! 始めて生れた... 乳汁分泌ホルモン

プロラクチン

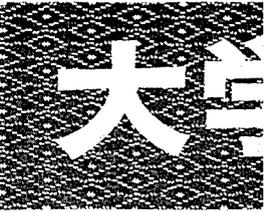
学界の話題

1928年 下垂体エキスの中に乳汁分泌を促進させる物質を発見してから約30年間、乳汁分泌ホルモンについて研究され、完成した製品.....これがプロラクチンです。ようやく乳汁分泌の機構も明らかにされました。これからは、母乳で育児をノ がキャッチフレーズになることでしょう。30年間の研究によって生れた製品です。それだけに、副作用のこと、経済性のこと、すべての点から考へて作られた乳汁分泌ホルモンプロラクチンのことですから、安心して、お客様に、自信をもっておすすめ頂ける製品です。右の写真は22才の去勢婦人にプロラクチンを投与して、プロラクチンに催乳作用のあることを証明するものです。

〔用法〕 分娩後毎日 100~200 国際単位、5~7日間の投与ですばらしい乳汁分泌作用を現わします。

〔価格〕 1管中 100国際単位 5管入 1,500円

東京・帝国臓器製薬株式会社・芝居区内



戸川 清	大学院四年
近藤 洋一郎	大学院三年
清水 文七	大学院三年
松岡 祐之	大学院三年
宇田川 敏二	大学院二年
司会	編集部

大学院は学位速成科か

司会 今の制度で最も矛盾していると思われる点をばつり出していただきたいと思ひます。

近藤 一番最初大学院ができた、卒業まで三年、その目的に沿って入ったわけですね。ところが我々から、その目的のズレがウツナルフになってきたわけですね。それで四年で学位がとれるという目的のずれの山の方が大きくなって、そういうものが大学院であるという考えが大きくなって来たわけですね。ですからその目的をばつり分けたい、そうすればまたすっきりした形になると思ひます。

大藤 現状はどうでしょうね。

近藤 結局制度を運営している人が間違っているわけですね。いま、問題になっている定員のことについても、たとえば五人入ったとして、そのうち二人はいいとして、他の三人の待遇が一番問題なわけですね。

大藤 それはもう定員二名ということではしょうがない。君は外科をやりたいが、制度上しょうがないから、基礎二年いってきてくれ、それでも外科へ入ったんだが、覚悟はできていないんだろ。

大藤 その定員二名以上につくるといふことがまずいんじゃないですか、それを廃止したらどうですか。

近藤 基礎の方はどうなんですか。

大藤 人手という意味でね。だから、臨床の方では定員をきちんと守り、基礎の方でもやたらに人を欲しがらず、物理でも、化学でも、動物をたてた人でもやたらとやたらいっているんですよ。もっと将来のことを考えてちゃんとやっていたらどうですか、基礎の方も(笑)。

大藤 だが、そういう風に臨床と基礎とをすっきりした形にしてしまふと両者がばらばらになるという現象も起りかねないと思ひます。

司会 今年五十一名も大学院に入ったと

いふことは、学位をとるのをええないうちから新情勢ができてくるんじゃないですか。

近藤 いや前からあるんですよ、医学部を出た人の三分の二くらいの人が学位をとっていません。

大藤 残念ながら、現在学位に対して、社会的な偏見、そういうものがあからずかではないでしょうか。

司会 そうすると旧制コースがなくなると、学位を望む人は全部大学院に入るわけですね。

近藤 四年間とりたいと思ひからです。しかも過去の実績からいへば四年間でとれることが実証されているわけですから、大学院制度が一番利用されているのはその面じゃないですか。

大藤 ところが問題なんだよ、手田川 結局、今の社会ではまだ学位というものが通用する。そこに根本的な問題が横たわっているんじゃないですか。

近藤 学位と大学院がくっついていて、現状はますます盛んになっていきますよ。

大藤 大学院出たやつには学位をやらなければいけません(笑)。

近藤 遊にいへばそういうことです。

手田川 昔の学位の意味なら、けつこうだと思ひます。ただ大学院がもっとアカデミックなものならば、現在のようないつもの功利的な意味をもつ学位と切り離して考えた方がすっきりすると思ひます。

司会 非常に打ち入った話になるんですけど、大学院に入って、学生とくらべて、特に研究費とか、生活費の面において、いかがでしょう。

近藤 原則としては、本代とか研究費とかは直接本人にはかからないから、生活費をばつりばつりしていきけるわけですね。

大藤 大学院学生だから、よけいに研究費がかかるという話はないですね。

大藤 そうですね、特別優待なりということですね、他の研究生とくらべてみて。

私にそれを覚悟の上でした。四年で外へ出るつもりはなかったし、教室自体にも理解

司会 大学院の学生対象の学歴スクリーニングという話は、どうですか。クルント

院を四年以上止らないうちでという話が

出てくるわけですね。

大藤 つまり何らかの形で大学とくっついていくわけですね。

大藤 内科は全部残っていますね。いや

いいますね。

大藤 ええ、そうですね。アカデミックなことをやっていると意味では、まとま

っているわけですね。

大藤 基礎は少人数が少いからその問題にはなりませんかね。大学院をでても、席につけないという話があります。

大藤 そうですね、各教室の事情によつてね。

清水 他人のことを心配するようでは臨床ですと、教室五人も入ったら、その人達全部が残るわけにいきませんから、恐らくいきつまるんじゃないですか。

大藤 そうですね、そういう問題にぶつかると思ひます。それでね、こりや方向をまちがったと思ひます。いやいやしかし、その人達は、残らないうちで

清水 そうですね。

大藤 ところがね、残らないうちでいけるようになっていくんじゃないか、本当の意味でのエキスパートになれないこと

にね。

大藤 しかし、そのうちには、もうも

のほらもう、さつと開業してしまお

うという人もいますよ。

大藤 そうですね、いいでしょう。しか

しその人達は果して自分だけ満足する

かというところなんだよ。力がないんだ

から。

大藤 しかし、その人達は、もう入

ってきたときの目的が違ふんだから。

大藤 ですからそこを誤解しないでほしい

んだ。誤解して入ってきた人はしょうがな

いよ(笑)。そこをどうにか切りぬけてき

すみやかに大学を引くか、或は自分の考え

を直して、大学に残って頑張るかという道

を選ぶ時期が当然かと思ひますよ。

大藤 しかし、少人数で進学する、絶対少

数意見ですね(笑)。

大藤 少数派というがね、要するにね

甘いんだね、皆考え方が。

大藤 一般にいって、四年間で学位を

もたらえるという考えの人が多数であり、か

つそういう人の考えが大学院の代表意見とし

て表に出てくるわけですね。

大藤 それはわかると思ひます、ある意味

では当然かと思ひますよ。で入って来て

研究に対する考えも変わってくることは

ばつりばつりと思ひます。

大藤 そうそう、入ってから初めて、い

うなことが解ってくるということですね。そ

れは事実ですね。

大藤 そうしているうちに解ったり、覚悟

したりした人が卒業した場合に、ジツツの

問題などはどうですか。

大藤 一内では、医局についているのは、集

団生活だから、大学院を出た人だけを特別

扱いにするとか全体として調和がとれない、

そこで平等に扱うという方針なんだよ。

近藤 そういふところが間違っていると思

ひますね。だから入ってくる人達が学

位だけを目的にしてくるんじゃないですか

四年間も苦学生生活をしたら、どうか、差

がつくはずですよ。

大藤 いや差がついてもさうね結局、内

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

